

東京園芸ニュース (28年度-95号)

平成29年 2月 / 群馬県東京園芸情報センター

「いばらキッス」と「とちおとめ」を紹介 大田市場で茨城県産いちごの試食宣伝会が開催！

J A北つくば産のいちご試食宣伝会

- 期間：2月3日(金)
- 場所：大田市場 東京青果(株)
- 主催：J A北つくば
- 内容：J A北つくば産いちごの展示と試食宣伝

■茨城県産いちごは2月中～下旬が2番果のピーク！

J A北つくば産いちごの2番果出荷がピークを迎えることから、いちごの試食宣伝会が開催されました。

当日は、「いばらキッス」と「とちおとめ」2品種の試食が行われました。試食が始まるとすぐに市場関係者の人だかりができ、「こっちの方が甘いな」、「品種で形が違うんだね」等のコメントがあり、あっという間に終了しました。どちらの品種も甘くジューシーで食味は大変良好でした。

今年は、8月の猛暑と9月の曇天降雨で頂花房の収穫が1週間程度遅くなり、茨城県の年内収量は前年の8～9割でしたが、年明けの出荷は順調に行われているそうです。現在は2番果の収穫が始まっていますが、着果・肥大ともに良好で、ピークは2月中～下旬の見込みです。

茨城県の平成28年のいちご類都中央入荷量は、栃木県、福岡県に次いで3位（群馬県は9位）、入荷量伸長率（H28/H23）は80%と減少傾向で推移しています。

■「いばらキッス」食味良好で大評判！

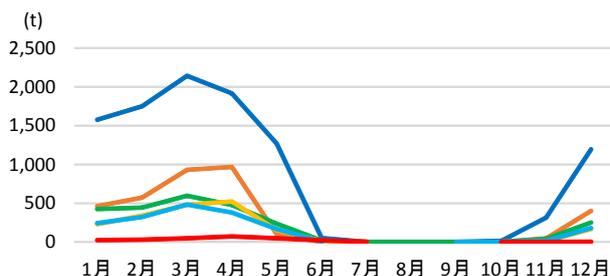
「いばらキッス」は、茨城県のオリジナルいちご品種（2012年品種登録）で、果形はやや長く、果皮は濃い赤色で光沢があり、糖度は「とちおとめ」より高く、食味は良好です。茨城県のいちご作付け品種は、「とちおとめ」が9割程度を占めていますが、「いばらキッス」も食味の良さで評判になっているそうです。また、群馬県育成「やよいひめ」と静岡県育成「紅ほっぺ」も茨城県で作付けされており、両品種とも大果で食味良いことから面積は増加傾向とのことです。



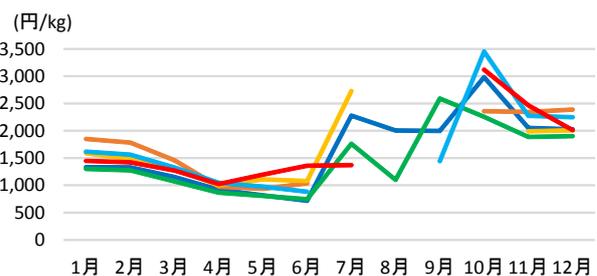
いちご展示の様子（左：いばらキッス、右：とちおとめ）



いちご2品種試食の様子



H28年：都中央の産地別・月別いちご類入荷量の推移



H28年：都中央の産地別・月別いちご類価格の推移